

精神科看護師の365日

平成25年度の日精看のテーマ「365」にちなみ、全国のさまざまな施設で働く精神科看護師の日常を紹介します。

file.8

管理職ナースの1日

社会医療法人近森会近森病院 総合心療センター・
デイケア・西岡由江さん(45歳・精神科看護歴26年)の場合



デイケアのプログラムにも積極的に参加。上の写真はデイケアのチームで。

精神科看護師になったきっかけ

入職して5年は大学病院の小児科で働き、虐待などの問題に触れるにつれ、在宅医療に関心が向くようになりました。大学病院を退職して訪問看護に携わった後、知人の紹介で精神科のクリニックに勤め始めたのが、精神科デビューでした。6年勤めた後、いまの病院に入り、15年ほどになります。

現在の仕事内容

デイケアチームをまとめる責任者として、スタッフの管理や院内調整、プログラムの企画・運営などを行っています。当院はデ

イケアの取り組みにも積極的でプログラムの更新も頻繁ですので、毎日やることは山ほどあります。

西岡さんの

ある日のスケジュール

8:30	出勤、メールチェック、朝の全体ミーティング(情報交換とベッドコントロール)
9:00	カンファレンス
9:30	デイケアプログラム
12:00	昼食休憩
13:00	デイケアプログラム
15:00	記録作業
16:00	会議、カンファレンス
17:00	会議やプログラムの準備など
20:00	退勤

やりがいや励みになること

学生時代の精神科実習の時は、たまたま入った病院が閉鎖的でありよいイメージがなかったのですが、いまは「出会いによって、患者さんの生き方が前向きに変わっていく過程を支えられる」という役割にとってもやりがいを感じています。特にデイケアのプログラムは、「やった分だけ、患者さんの変化がある」と効果を実感しています。患者さんの変化に触れることがいちばんうれしいので、積極的に現場に出ています。

今後の目標

これからも「地域でその人らしく生きる」を支えられる看護師でありたいと思います。前から引張るのではなく、後ろからそっと支える。そんな存在をめざしたいのです。管理者として憧れる先輩は、日精看の仲野栄理事です。部下の「やってみたい」という気持ちを尊重して、背中を押せる度量を身につけていきたいと思っています。